

試聴会・訪問記掲載

シマムセンオーディオ試聴会 (2019.9.14) —DENON 新製品 PMA-SX1 Limited & DCD-SX1 Limited 試聴会—

1. はじめに

シマムセンで開催された DENON 新製品 PMA-SX1 Limited & DCD-SX1 Limited 試聴会に行ってきました。

2. 使用機器等



DENON PMA-SX1 Limited & DCD-SX1 Limited 試聴会

DENON DCD-SX1 Limited
メーカー希望小売価格
¥750,000 (税別)

その他使用器材
B&W 803D3 サテン・ホワイト
メーカー希望小売価格
¥2,700,000 (税別)

DENON PMA-SX1 Limited
メーカー希望小売価格
¥780,000 (税別)

日時	2019年9月14日(土) 15:00~17:00
場所	CYMA (シマムセン別館) 2F イベントルーム
講師	メーカー担当者
内容	DENON 待望の新製品「PMA-SX1 Limited」「DCD-SX1 Limited」を「B&W 803D3」でお聴き頂きます。

機材	スピーカー	B&W 「803D3 サテン・ホワイト」
	インテグレートッドアンプ	DENON 「PMA-SX1 Limited」
	SACD プレーヤー	DENON 「DCD-SX1 Limited」



当日のセッティング

3. 試聴の経過

試聴対象がいずれも新しいフラッグシップモデルということで、サウンドマネージャーの山内氏の設計方針や従来機からの改善点などの解説をまじえて試聴が行われました。また、DCD-SX1 Limitedの比較対象として、前作のDCD-SX1も使用され、音源には実際に音決めに使用されているCDなどが再生されました。

最初に、DCD-SX1 Limitedの音がDCD-SX1からどのように変わっているかを、ボーカルものとヒラリー・ハーンのV協で比較試聴が行われました。DCD-SX1は非常にクリアで押出がよく、DCD-SX1 Limitedになると柔らかみが出てボーカルの細かいニュアンスも聴き取れます。ヒラリー・ハーンでは、DCD-SX1はくっ

きりとして明るい音ですが、ヒラリー・ハーンが使用するヴィヨームの、演奏会で聴ける繊細な倍音までは聴き取れません、DCD-SX1 Limited になると幾分そういったところは改善されますが、生音を経験しているだけに不満が残り、オーケストラも低音の押出しは良いのですが、弦や木管のニュアンスには不満が残ります。ここからは DCD-SX1 Limited に固定した再生になりましたが、次のフュージョン系の曲では、一転してクリアーで押出感が、良い方向に出てきましたが、さらにラフマニノフのヴォーカリーズになると、もう少しうるおい感が欲しくなります。さらに、フュージョン系の曲とキース・ジャレットのトリオのジャズと続きましたが、さきほどのフュージョン系の曲と同様、このシステムの良い面が出てきます。クライバー／ウイーンフィルのベートーベンの7番は、演奏は秀逸で元のマスター音源の良さが出ていますが、生音基準で評価すると厳しいことになってしまいました。次のハリ・ベラフォンテは古い録音とは思えないほどリアルで鮮度感がありました。

再び、クラシックに戻って 35mm テープ録音のマスター由来の幻想がかかりましたが、さすがに元のマスターのクオリティを感じることができました。一方、ロックを挟んでのベートーベンの5番の最新録音は、演奏も一風変わっており、ぎすぎすしたところは、恐らくはデジタル録音のよくないところが出ている印象です。最後は、和製女性ボーカルもので締めくくりとなりましたが、サウンドマネージャーの方針やパーツやコンストラクションの詳細説明があって、出てくる音との関連も理解できました。

4. まとめ

前作の SX-1 からの改善点やクリアーで押出感のあるパフォーマンスは曲によって効果が発揮されていました。クラシックに関しては、良い面と悪い面が混在しており、評価を下すのは早計なようで、弦楽四重奏やバロックアンサンブル、ピアノ曲などを幅広く聴いてみる必要があります。

以上